



私が子どもだった頃 副会長 長野 政治

昭和十年代を過ごした思い出です。

私の生家は大道小学校のすぐ裏でした。周りは畑と田んぼばかりで、春から夏にかけてはカエルが鳴き、ホタルも飛び、太い青大将もいました。そして子どもの遊び場所は田んぼ道や畑道、そして当時は土手も低く入りやすかった侍従川でした。

侍従川ではウナギ釣りをして遊びました。当時の侍従川は石垣式で、ウナギの寝床となっていたのです。ウナギは細い竹棒に糸と針を付けた竿を石垣の穴の中に入れて釣ります。ウナギ釣りのプロの人が釣るのを見て、子どもなりに真似をしたのです。私もそうやってウナギを釣りました。他にも侍従川ではフナやハヤ、ハゼ、カニなどを採って遊びました。特にハゼは、自分の庭にある竹に糸と浮きと針を付けた即席の釣り竿を持って諏訪の橋に行き釣ったのを覚えています。釣ったハゼは持ち帰り天ぷらにして食べました。

しかし私たちの遊びはそれだけに留まりませんでした。私が遊び仲間としていたのは『戦争ゴッコ』です。お宮の回りや光伝寺の庭に行き、竹で作った刀で立ち合いをしたり、木の枝を鉄砲代わりにしたりしました。しかし度が過ぎ近所の雷鳴オヤジに叱られることも度々でした。

第二次大戦が始まると畑や田んぼが埋められました。山は火薬発破で崩され、杭木を置いて固定したレールをトロッコが走りました。今の大道小学校も一度埋めた所に建てられたのです。当時は平屋建てで学校としては使用されず軍が使っていました。そしてすぐ横には二階建ての工員寮が五棟も建てられました。



絵) 山田(陽)

また、軍用道路もできました。道路用地は強制移動させられ、今の四号線である大道の他、西大道にも住宅ができました。私は西大道にできたお風呂屋に入浴に行った思い出があります。こうして山は削られ田んぼや畑も埋められ、私たちの遊び場もどんどんなくなっていきました。しかし、それでも私たちは僅かに残された自然の中で小屋造りや戦争ゴッコをして遊んだのでした。

高等科一年に上がり少し経つと学従動員として工場へ応援に行きました。日本製鋼所へ機械の作業の見習として、朝学校より歩いて行く毎日を過ごした記憶があります。そして昭和二十年八月十五日、終戦とともに学従動員も終了したのでした。



横浜の水辺とみどりを考える子ども会議

【活動報告その1】

3月23日(日) 於：横浜市立金沢高校

記) 竹内

3月23日、金沢高校で、横浜の水辺とみどりを考える子ども会議が、行われました。

今回も侍従川の宝物をテーマに展示しました。午前中はワークショップ。ほとんどの団体が生体展示をやってました。数で勝った海のグループが一番かな？二番争いが微妙。



午後からは、テレビ会議と討論会。テレビ会議は、海を越えて韓国の高校生と。海を越えても、考えてることは一緒ですね。討論会は、子どもたちが自主的に考え、私達大人がビックリするような答えがあり、子ども達のレベルの高さに脱帽！そうそう、テレビ会議は、学生部ケンモチ君がMC(進行役)やってましたよ。



～ 3月クリーンアップ～
3月23日(日) 於：大道橋～ブックオフ裏

【活動報告その2】

参加者：大人9名

子ども会議と重なったため参加人数は少なかったですが、大道橋からブックオフ裏までと広範囲のごみ拾いと草刈りを行いました。

侍従川の春を味わおう！

【活動報告その3】

4月5日(土) ～春の草摘み&野草パーティー～

記) 上村

参加者：小学生5人、中学生11人、高校生10人、大学生&専門学校生2人、
大人14人 合計42名

4/5(土)「春の侍従川を味わおう！～野草パーティー～」が行われた。

40人ぐらいのメンバーが集まり、いざ野草摘みへ。

まず、侍従川の源流の森で山田(陽)さんの説明のもと、タンポポ、トトキ(ツリガネニンジン)、ノビル、ヨモギを摘みました。いろんな毒草もあり見分けるのが大変。

次は、廃寺の裏の梅林谷戸。ここでは、セリを摘みました。セリの横に生えている毒草のムラサキケマンが似すぎていて、すぐ間違えて摘んでしまいます。危ない危ない。



それから森の中を歩き大道中学校でセリ、タラの芽、クレソンを摘みそろそろ空腹が・・・。

調理場所の親水公園(ちとせ園)に行き早速、調理を開始。

最初はセリと鶏のすいとん。皆お腹がすいていたと見え、あっ！という間に完食。「飲んでないのに～」の声が。



鶏はもう無いけど仕方ない、もう一度すいとん作り。
ノビル（葉っぱ）のちぢみセリキムチ乗せや、セリ
とノビルの餃子、ノビルの酢味噌和え。

そして、山田さん特製クレソン入りペペロンチーノ。
気が付いた時にはどれも無くなっていました。

それから定番の天ぷら。タンポポの花、タラの芽、
トトキが高校生の男の子の手で揚げられました。最初の
ぎこちなさはすぐに消え、シェフさながらの腕前で
した。えらいぞ~。

最後はデザートはヨモギ蒸しケーキとヨモギ団子。

子どもたちは手伝ってくれたり、近くの公園で鬼ごっこをしたり、川で遊んだり、
魚を捕まえたり気の向くままに動いていました。

楽しい一日でしたね。皆さま、お疲れ様でした。



参加者の声

- ・タンポポをこれでもかというくらい取っているとき、トカゲをつかまえた人がいて見せてもらいました。すごくかわいくてほしくなりました。
- ・自分の家の近くに食べられる野草がたくさんあることに驚いた。
- ・間違えれば命が危ないけど、だいじょうぶかな？とハラハラ、ドキドキ感がたまらない。
- ・野草でおかずから、お菓子までたべられてうれしかったし、おいしかった。
でも、夜少しお腹が痛くなった(^_^;)



学生部新入生歓迎遠足 in 小網代

【活動報告その4】

4月6日(日) 小網代の森、小網代湾

記) 熊井

4月6日(日)朝8時に京急金沢八景に集合し、侍従会学生部は三浦市小網代に向けて出発しました。

この日の天気は快晴。絶好の遠足日和で新入部員の小中学生の子供たちは虫取り網片手に大はしゃぎでした。

三崎口駅には9時半頃到着。そこから徒歩15分ほど歩いて、目的地小網代の森の入り口にたどり着き、ここからは学生部リーダー佐野慎吾くんが小中学生を連れて小網代の森を案内しながら進みました。

午前11時、ゴールの小網代湾に到着。ここで皆お昼を済ませ、干潟観察の始まりです。

干潟では前に歩くことの出来るカニ、マメコブシガニ、ヤカチカチと音を立てるテッポウエビなどが見つけられ、リーダー佐野君のレクチャーのもと、参加者の子供たちは興味深々で干潟の生き物を観察していました。

こうやって2時間半くらい過ごし、3時ごろに帰りの支度をはじめ、行きとは別の道で三崎口駅へ。

行きの電車の中では、あんなにはしゃいでいた小中学生たちも干潟で生き物と遊んだ疲れか、帰りの車中では寝ている子もいました。

4時ごろ金沢文庫の駅に到着し、そこで解散となりました。

参加者の皆さんお疲れ様でした。



マメコブシガニ



イソアワモチ



葦船乗船会

【活動報告その5】

4月13日(日)9時~15時 於:大道小~関東学院漕艇場

記)山田(隆)



葦船“小栗判官”“照手姫”の乗船会が行われました。
肌寒い雨上がりにもかかわらず、120名の参加がありました。



つり上げて
川まで運びます

大道小の近くで進水させます。参加者は
徒歩で漕艇庫前へ。



家族で記念になりました!

参加者の声

- ・上流から風が吹いていたので、風に乗ったときはよく進んでおもしろかった。
- ・待っているときは寒かったのに、船に乗ると寒さを忘れていた。
- ・苦労して作った葦船に乗れたときは、感激しました!!

おっともまる
“乙鞆丸”も参加。これは
横浜に和船をよみがえらせる
会の人たちが作ったもの。



スイスイ
快適!



来年も楽しい乗船会ができるといいですね。

パタゴニア「アースデイイベント」

【活動報告その6】

4月19日(土) ~侍従川で遊ぼう 魚や鳥たちのためにアシを植えよう~

於：大道小学校~侍従川

記) 廣瀬

今回のイベントは4月22日のアースデイ（地球環境に関心を持ってもらうために定めた”地球の日”）に因んでパタゴニアと侍従会が企画したものです。パタゴニアは、登山やサーフィン、フライフィッシングの道具、スポーツウェアなどを扱うアウトドア専門の会社で並木の横浜ベイサイドマリーナにも支店があります。環境保護に関する活動を積極的に行っています。



さて、10時になると大道小学校のコミュニティハウスに、生きもの大好き小年少女が集まりました。侍従会のメンバーだけでなく、この企画に賛同した人たちも加えて参加人数は50人を越えました。最初にパタゴニアの津島さんからイベントの内容についての説明があり、続いて山田(陽)さんが侍従会の活動をパソコンで紹介しました。



オリエンテーションが済むと、侍従川の川沿いを歩いて千歳園を目指しました。侍従川は緑が増えてすっかり春めいて、虫取り網を持った子供たちは目はキラキラと輝かせて食い入るように川を眺めていました。泥牛橋あたりの葦が見えてきたので、これから、この葦の苗を植えること、育った葦で人が乗れる舟が作れること、などを話すとみんな驚いていました。



目的地の千歳園に着いて、始めに川の清掃を行いました。ビニール袋やジュースの空き缶などがたくさん捨てられており、まだ、川をゴミ捨て場だと思っている人が多いようです。それから、本格的に川に入って魚取りや虫取りを楽しみました。魚たちは、捕まえないように茂みに逃げ込む、そこを待ち構えて網で捕獲する、子供たちと魚の知恵比べです。夢中になって生きものを追いかけているうちにズボンもシャツもビショビショになっている姿も見かけました。

子どもたちが捕まえた生きものは、アズマヒキガエル(幼生 オタマジャクシ) ウキゴリ、スミウキゴリ、チチブ、メダカ。モクズガニ、テナガエビ、アメンボ、コオイムシ、コヤマトンボ(ヤゴ) コシボソヤンマ(ヤゴ) シオカラトンボ(ヤゴ) ハグロトンボ(ヤゴ)など、あっという間に即席水族館の出来上がり。恒例の山田(陽)さんの生きもの解説もありました。

川で遊んだ後は、みんなで葦の苗を植えました。浅瀬はゴツゴツした石があって大変でしたが、シャベルで穴を掘って一生懸命植えました。最後にみんなで記念撮影を行い、千歳園からコミュニティハウスに歩いて戻り、イベントのまとめを行って解散したのは12時を過ぎていました。時の経つのも忘れるくらい楽しいイベントでした。参加された皆さん、お疲れ様でした。



～ 4月クリーンアップ～

【活動報告その7】

4月27日(日) 於：長島橋～里野橋

記) 河本

参加者：大人8人、高校生6人、中学生1人、小学生1人 合計16人

作業内容： ゴミ拾い・草刈り、 オオブタクサ除去、 石組み作り、 水草の植栽

なぜ、石組み作りをするのか？

落差をつけて酸素を
溶け込ませる

好気性バクテリアが
働きやすくなる

生き物が住み
やすくなる

水の浄化

やがては赤潮の防止に
つながるかも・・・



里野橋のそばに、自転車が2台
(1台は電動機付き)落ちて
いました。

5月の活動(5/24(土)『侍従川自然観察会シリーズ～春の森の宝ものを探そう』、5/25(日)クリーンアップ、学生部調査)は、すべて雨のため中止となりました。



速報！学生部ホタル調査

5/28(水)より、学生部ホタル調査が始まりました。例年6月にならないと見ることが出来なかったのに、なんと！もう飛びました。それも6頭も。侍従川の方でも、飛んでるようです。

侍従川生き物図鑑 No.2

ヤマサナエ

トンボ目 サナエトンボ科



Photoed by K.Kumai

侍従川流域ではゲンジボタルなどの生息する源流部で多く見られます。大型のトンボでオニヤンマのような模様をしていますが、サナエトンボの仲間です。

ヤゴ（幼虫）の体は平らで川底の砂に潜って生活しています。

このトンボ仲間の“サナエ”の由来は発生する時期がちょうど農家が稲を植えはじめるシーズンと重なるため早苗蜻蛉（さなえとんぼ）と名付けられました。

監修) 熊井

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~小学生時代の思い出~

小学校も高学年になった頃、僕が通っていた朝比奈小学校の子どもたちの中では釣りが流行りました。そして学校が終わると毎日のように侍従川へ行って釣りをしていました。

当時流行っていたのはルアーフィッシングという釣りで、マンガやアニメの影響もあり、みんな格好つけてルアーフィッシング用の釣り竿にルアーを持って侍従川に出かけました。しかし、ハゼやフナしかいない侍従川では当然釣れるはずもなく、結局タモ網でガサガサした方がとれるということに気づくのでした。

そんなある日のこと、この日も釣り竿を持って侍従川へ来たものの結局使い物にならず、川に入って網でガサガサしていました。川に網を入れ始めて数分、フナや金魚、メダカ、テナガエビ、ハゼの仲間（今思うとチチブとウキゴリ）と、なかなかの収穫でした。「この場所は魚多いね!」「長嶋橋だって。覚えておいてまた来よう!」たくさんとれた魚を見てみんな大喜びです。



それからしばらくして、網を持った子どもが下流の方から川を登って来るのが見えました。その時メンバー全員が下流から来た彼にライバル意識を燃やし、自分たちがとった魚を自慢してやりたいと思ったのでしょう。全員が下流から来た彼のもとへ「何かとれたあ?」と声をかけながら近寄りました。彼の持っていたバケツを覗き込むと何も入っていません。ニヤリ。「俺たちはこんなのとれたよ」と友達の一人がみんなでとったバケツの中身を見せると、彼は悔しそうに後ろを向き叫びました。「山田さーん!!」「!?」大道東橋の影から大道小学校の子どもたち10人くらいを引き連れた山田さんと呼ばれる人は、大きなサデ網にバケツを持って僕たち朝比奈小軍団の前に突如現れたのです。



僕は小学校1年生の時参加した侍従会で山田さんの顔と名前を覚えていたのですぐに分かりました。そして僕たちは自分たちがとった魚を自慢したくて山田さん率いる大道小軍団に魚を見せに行きました。すると山田さんは「おお~いっぱいとったねえ。こっちはこんなのとったよ」とウナギを見せられました。これには朝比奈小軍団も完敗でした。

その後、山田さんは大道小の子どもたちを連れて上流のほうへ登って行ってしまいましたが、これが僕にとって山田さんとの2回目の出会いでした。そして山田さんと再び出会う次の機会から侍従会の会員として活動を始めることになるのです。



『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

3大連載第3弾



それゆけ
激突！山田くん
お休みのお知らせ(T_T)

前号でお知らせした「それゆけ！山田くん」は、作者取材のためお休みさせていただきます。

申し訳ありません。m(_ _)m

作者への叱咤、激励をお待ちしています。



侍従川定例調査報告

3月25日(火) 晴れ

参加者：小学生5人、高校生4人、大人1人(計10人)

【汐見橋】(下流域) 12:46

気温：16 水温：14 水深：100cm 水の色：透明

Ph：8 COD：6 塩分濃度：5

生物：チコガニ、クサガメ、ゴカイ、カキ、トビ(2)、
ミシシippアカミミガメ(3)、フナムシ、
ムラサキエガイ、ウミナ、ウロハゼ、
フジツボsp、タマキビガイ、テナガエビ、
チチブ(12)、モンシロチョウ

ゴミ：ビニール、缶、生卵



【六浦中学校】(下流域) 13:57

気温：14 水温：16 水深：30cm 水の色：ちょっと濁っている

Ph：7.5 COD：6 塩分濃度：5

生物：コウロエンカワヒバリガイ、マガキ(3)、
ウミナ、ボラ、ハゼsp、フジツボsp、
ミシシippアカミミガメ

ゴミ：ペットボトル(9)、カップ(3)、
発泡スチロール、紙ごみ



【大道中学校】(源流域) 15:09

気温：15 水温：14 水深：40cm 水の色：透明、底オレンジ

Ph：7 COD：2

生物：カワニナ(2)、サカマキガイ、アメンボ、
ホトケドジョウ(7)、アズマヒキガエル卵(3)
メダカ(4)、オオシオカラトンボヤゴ(3)

ゴミ：プラコップ

備考：オランダガラシ



【ホタル谷戸】(源流域) 16:00

気温：15 水温：9 水の色：透明 Ph：8 COD：0

生物：カワトンボヤゴ、ミルンヤンマヤゴ、カワゲラ sp(11)、トビケラ sp(2)、
ガガンボ sp、ヒル sp(7)、ミズムシ(3)、
ヤマトクロスジヘビトンボ、サワガニ(8)、
ユスリカ sp、カワニナ(3)、
モンキマメゲンゴロウ幼虫

ゴミ：ホース、棒、畳の切れ端、ビニールゴミ



4/27(日) 晴れのち曇り

参加者：小学生1人、高校生6人、大人1人(計8人)

【六浦中学校】(下流域) 14:05

気温：18 水温：20 水の色：透明

ph：7.5 COD：6 塩分濃度：10

生物：ハゼ sp、イソコツブムシ、アサリ、タマキビ、
環形動物 sp、二枚貝 sp、マメコブシガニ、
エビナガホンヤドカリ、カサガイ sp、マガキ、
ホソウミニナ(12)、テナガエビ(10)
コウロエンカワヒバリガイ(5)、

ゴミ：ペットボトル、パイロン、パンの袋、ネギの袋

備考：ゴミ大量



【汐見橋】(下流域) 15:20

気温: 18.5 水温: 20 水深: 110 cm 水の色: 透明

ph: 8 COD: 8以上 塩分濃度: 13

生物: アゲハチョウ、クサフグ、チチブ(6)、ボラ、
テナガエビ(16)、チゴガニ(48)、
アサリ、ホソウミニナ、
二枚貝sp、コウロエンカワヒバリガイ



【長島橋】(中流域) 16:25

気温: 15 水温: 18.5 水深: 54 cm 水の色: 透明

ph: 8 COD: 4 塩分濃度: 0

生物: チチブ(16)、シオカラトンボヤゴ、
コシボソヤンマヤゴ(2)、メダカ(3)、
ハグロトンボヤゴ(8)、ミゾレヌマエビ、
クロベンケイガニ

ゴミ: 紙ごみ、鯉の死骸、タバコ



【大道中学校】(源流域) 17:15

気温: 10 水温: 10 水深: 18 cm 水の色: 透明

ph: 7.5 COD: 4 塩分濃度: 0

生物: ホトケドジョウ(30)、アメンボ(2)、
ヒキガエルオタマジャクシ(60)、メダカ(3)、
マルタンヤンマヤゴ、シオカラトンボヤゴ、
カワニナ



事務局だより

事務局運営委員 河本

長年、侍従会を支えてくださった徳丸さんが、4 / 20に郷里 鹿児島へ帰られました。そこで、3月29日(土) ~ 30日(日)に逗子の魚藍荘(19名参加)にて、また、4 / 5(土)に大道小横のCOCO'S(12名参加)にて、送別会が行われました。

徳丸さん、長い間ありがとうございました。
郷里でのご活躍をお祈りいたします。



相川会長から記念品(葦船)の贈呈

メーリングリスト登録のお願い

侍従会のメーリングリスト(会員限り)を立ち上げました。行事案内、中止等の緊急連絡、侍従川の情報などを流したり、会員間の情報交換の場として活用したいと考えています。

メールアドレスをお持ちの方は、登録をお願いします。登録手続きは、山田(陽) yohji-y@ezweb.ne.jpまでメールを出してください。

編集後記

今年も学生部からホタルの便りが届けられました。この号が出る頃には、きっとたくさん飛んでいることでしょう。

ホタル観察会が楽しみですね~ (MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5 - 23 - 26

長橋 輝明

TEL&FAX : 781-4042

e-mail : jr-nagahashi@seaple.ne.jp

この会報は、会のホームページ(http://www.sora-iro.net/~hirose/furusato_jijyu/)から見ることができます。